光輪

第 128 号

〒950-2022 新潟市西区小針４丁目５番 18 号
真宗仏光寺派　瑞林寺　光輪会
電話（025）266-1846 ・ FAX（025）266-1907
瑞林寺ホームページ http://www.zuirinji.com

西川にかかる鯉のぼり

寺お講　午後一時半より

五月二十八日（金）

コロナウイルスのため午後だけつとめます

導師	南区東萱場	玄龍寺　山際　玄忍　師
御書	西蒲区打越	佛照寺　花井　性寛　師
布教使	燕市松橋	緑芳寺　鷲澤　浩幸　師
	燕市米納津	頓了寺　稲葉　貞宣　師

当日の月参りは通常通りです

西川に今年初めて鯉のぼりが掲げられ、子供たちの成長が願われました。
川を泳ごうとする鯉を必死で釣りあげようとする関係者さんの写真が撮れました。

瑞林寺および廣澤家の報告

瑞林寺および廣澤家について、四月からの状況をご報告させていただきたいと思います。

先に住職からの報告がありましたが、四月から本山の内局の総務という役職になりました。宗務部という教学や法務を担当する部門です。二年後の本山での慶讃法会（きょうさんほうえ）に向けて大事な時期での任務です。

平日は本山、土日は瑞林寺と京都と新潟の往復の生活になります。

当院の海真は大谷大学の文学部真宗学科三回生になりました。現在、本山の学生寮に住まいしており、住職ともども本山にお世話になっています。

また住職の妹の長女理香の子供、次男の裕次郎もこの度、京都大学の工学部に入学し、身内三人が京都住まいとなりました。

法務院の山崎明君の弟の山崎哲（ひろし）君がこの度、東京の西徳寺様の住職になりました。二人は住職の従兄弟になります。住職が八年西徳寺に務めた後、駒沢大学卒業後入寺し、人望と責任感を買われての大役です。ちょうど住職の本山の初仕事が西徳寺住職任命式となりました。

今年に入ってから老院の体の調子があまり思わしくありません。住職不在の中、心配なところです。娘二人も毎日のように来てくれて面倒をみてれていています。

一番大変なのは坊守です。お寺の家庭のやり繰りに毎日奔走しています。幸いに法務に関しては院代の川村さん、法務員の山崎君、法務のお手伝いに押田さん宮島さんと職員がそろっているので安心です。

ご門徒の皆様にも何かとご負担がかかると思います。瑞林寺、特に廣澤家の現在の状況をお察しいただけたらと報告させていただきました。

何卒よろしくお願い申し上げます。

※今号の老院の探る瑞林寺の由来とあゆみはお休みとさせて頂きます。

風薫る 五月 泳ぐ 鯉のぼり 泳ぐ ときは 向かい風（本山佛光寺の八行標語より）

どなたも自由にご参加を　寺の活動紹介 ③

「お朝事」

永代読経のお勤めでもある「お朝事」（晨朝勤行）は一日も休むことなく毎日本堂で行われています。

読経内容は、

- 浄土三部経（繰り読み）
- 正信偈
- 六首引き和讃
- 報謝念仏
- 讃仏偈

三～四十分のお勤めです。

永代読経のお勤めとは、その日をご命日とする方へのお勤めであり、四百年もの間欠かすことなく瑞林寺本堂で行われております。

また勤行前に梵鐘が小針に響き渡ります。近隣の方々のご理解のもと、音の風物詩としても続けられており、天候によっては関屋まで鐘の音が聞こえるのだとか。

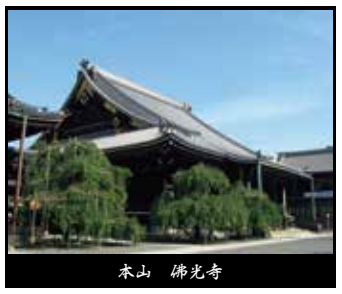
散歩がてら、生活習慣としてもご希望される方はいつでもおいでください。

参加自由
年中無休、毎日開催
時間　朝7時より、本堂にて
※毎週水曜日
ヨガ教室参加者合同

●住職ご報告

この四月から、本山より内局の総務という役職に任命されました。教学と法式を主に担当します。私の分に過ぎた大役で、私自身とまどっている次第です。急遽総代会を開き、院内会議でも検討した結果、お受けすることになりました。

光輪会の皆様には紙面を借りての事後報告のような形になってしまい申し分けありません。幸いに瑞林寺は職員にも恵まれ、日々のお参り等差し支えないと思いますが、これまでの定例の行事等をお休みすることになり、心痛むところであります。皆様にご迷惑をおかけすることになりますが、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。


本山　佛光寺

寺お講（法中講）とは

お寺のお仲間を法中（ほっちゅう）といいます。

瑞林寺の法中は（順不同）

玄龍寺様　南区東萱場
緑芳寺様　燕市松橋
頓了寺様　燕市米納津
善養寺様　西蒲区熊谷
梵行寺様　南区上曲通
浄源寺様　西蒲区東船越
佛照寺様　西蒲区打越

の七ヶ寺です。

すでに江戸時代から続くもので、本山から法中のお寺に念仏のお法を門徒の皆さまにお伝え下さいとのお手紙があります。その伝統を今も受け継いでいます。

それが法中のご寺院で持ち回りで仏法を説き、聞法によって仏法の響き合う世界を今伝えているのが寺お講です。

コロナ禍だからこそのご聴聞です。是非お参り下さい。

毎月　二十八日は「しんらんさまの日」
毎年　五月二十八日は瑞林寺「寺お講」の日

お通夜は人生の卒業式　葬式はお浄土の入学式

お通夜は夜伽（よとぎ）とも言い、緑の深かった家族や縁故の人がともに夜通し、故人の思い出を語り合いお礼を申す最後のお別れの夜です。善くも悪くもこの世を生き抜いた人生の総決算、人生の卒業式です。

阿弥陀さまは、この世の荒波の航海を渡った人生にあって、身につけた輝かしい勲章も、忌まわしくも汚れた古衣も、ともにすべて脱ぎ捨てた裸ひとつの私を、長いことご苦労様と老少善悪の差別なく、お浄土の学校の新入生として、無条件に全員入学を許し、優しく平等に迎えて下さる校長先生が阿弥陀さまです。

古い凡夫の衣を脱ぎ捨て、新しい仏のいのちの誕生、お浄土の入学式が浄土真宗のお葬式です。

（瑞林寺勤行本より）

新米坊さん日記 4

愚痴。これは聞こえも悪く、無くせるものなら無くしたい。これを無くすことはこころの浄化だと信じ、無くそうとはしてみるのですがどうしても消えないのです。

よくよく考えると、この愚痴、止めようとする前に既に出てしまっているのです。きまって後で後悔するのですが、なぜ中年のいい大人が愚痴を止めれないのか真剣に考察してみました。私が私を分析するという不思議なお題…。

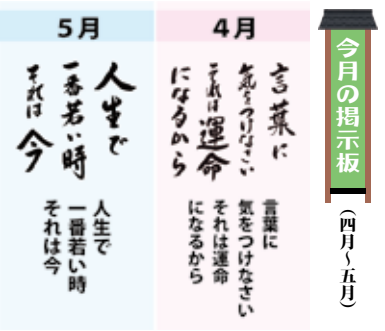
結論。口をついて出ている愚痴はその時分、愚痴を言っているという感覚が全く無い。でした。

笑えますがそうなのです。私は懸命になって会話相手にあの人の素行や言動を伝え、私の苦しみを知ってもらうのがまずの目的。あの人に関わる今後の被害を無くする為の心構えや忠告といった、いわば正義感が愚痴となっていました。また食い止められなくとも、あの人の評価を会話相手と共有・共感してもらう。

正義感や保身が愚痴の本当の姿でした。これでは無くしようがありません。これほどまでに私はわたしを無意識に守り、正義の大義すら私中心なっている、あきれるほどのスーパー凡夫。しかしそれが今の私と知らされるのでした。

（山崎）

今月の掲示板（四月～五月）



四月「言葉に気をつけなさい。それは運命になるから」

日々の生活において何気なく使う言葉。言葉は人の心を揺るがします。言葉によって人を傷つけたり、また喜びを与えたりもします。私の発する一語一語が人生を作り出していると言ってもいいのでしょう。それは生きる習慣となりしいては運命にもなる。正語、それは正しい言葉を使うこと。仏教の基本です。

五月「人生で一番若い時、それは今」

生老病死、人間誰もが通らなければならない苦しみです。時間は過ぎ去るばかり。しかし若い頃の過去には戻れないのです。あの時はよかったと思うのも過ぎ去ってみてのこと。時間的な過去も未来も幻想なのでしょう。今現在が事実上、一番若いのです。かけがえのない今をどう生きるかが大切です。

泥華（おでいげ）

■境内の庭に、新しく砂利が入りました。寺子屋習字教室では恰好の遊び場でしたが、砂利が減りみすぼらしくなっていたところ、渡辺石材さんが職人の修行のためと自らの材料を使って枯山水のようにして頂きました。

■寺子屋習字教室の子供たちには砂利遊びから、熊手で模様を描いて枯山水の心を学んでもらいたいと思います。

■瑞林寺の前の西川に桜を植え直しました。以前植えた桜が夏の草刈りの時、いっしょに切られてしまいました。せっかく大きくなりかけた所だったのに悲しいことでした。

■おととし植えた芝桜が徐々に咲き始めました。散歩がてらの方が草取りをして下さったり眺めたり、憩いの場になっています。

YouTube 仏光寺チャンネルに住職の法話が収録されました。是非ご覧ください。